



NICTの 公開展示施設について

滝澤 修 Osamu Takizawa 国立研究開発法人情報通信研究機構

1 はじめに

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）は近年、業務の拡大に伴って、見学希望者が増え、研究室（実験施設）に御案内して研究者が解説することの負担増が課題になってきました。そのため、業務紹介の展示物を一堂に集めた公開展示施設を整備し、研究者とは別に解説担当者を置き、来客がワンストップでNICTの業務を俯瞰できるようにして、来客の満足と研究者の負担軽減の両立を図ることを目指しています。

NICTの公開展示施設は、NICTの業務紹介、すなわち企業のショールーム的な機能だけでなく、市民や青少年への科学技術の知識普及、すなわち科学館的な機能も求めた上に、更に研究開発の歴史を紹介する博物館的な機能も持たせたいという、小さいながらも欲張りな施設を目指しています。

NICTは全国各地に研究・観測拠点を持っており、それぞれに公開展示施設を設けています。本稿ではそれぞれの施設を御紹介します。

2 本部展示室（東京都小金井市）

本部展示室は、NICT本部に所用があつて来訪した方が待ち時間等に気軽に立ち寄れるように、研究本館1階ロビーの脇に2012年にオープンしました（図1）。本会創立100周年に「マイルストーン」に選定された世界初の実用無線電話機（TYK式無線電話機）のレプリカや、同開発メンバーによる大正時代の直筆の研究報告などの歴史的資料（図2）のほか、現在取り組んでいる五つの研究の柱及び産学官の連携を推進するオープンイノベーションの取組みを紹介するコーナーを設けています。また、40名程度を収容できるシアターを有し、ミニ講演会を催せるようになっています。

開室は平日のみですが、「NICTオープンハウス」などの公開行事の際には、土曜日も臨時開室します。英語による解説が可能な専任スタッフが常駐して、海外からの来客に対応しているほか、インバウンド対策に力を入れている地元・小平市の観光協会のスタンプラリーに参加し、これまでNICTに御縁の少なかった市民の呼び込みも図っています。

2019年（1～12月、以下同じ）の来室者数は、公開



図1 本部展示室



図2 TYK式無線電話機のレプリカと関連資料



図3 東京オリンピック宇宙中継の地 記念碑



図4 鹿島宇宙技術センター宇宙通信展示館



図5 超長基線電波干渉計 (VLBI) の原理を体感できる動態展示



図6 沖縄電磁波技術センター展示室 (左側)



図7 レーダの特長が学べる「レーダのウォール」

行事を除き3,472名でした。

3 鹿島宇宙技術センター宇宙通信展示館 (茨城県鹿嶋市)

1964年東京大会において史上初のオリンピック・テレビ衛星中継に成功(図3)した同センターには、専用の建物による立派な展示館があります(図4)。衛星通信や宇宙科学などの宇宙技術に関する地域の科学館として、分かりやすいデモや模型が充実し(図5)、土曜・日曜日も開館しています。

2019年の来館者数は、公開行事を除き1,330名でした。

4 沖縄電磁波技術センター展示室 (沖縄県国頭郡恩納村)

電波や光を使ったリモートセンシング技術等の研究開発を行っているセンターの本館に隣接して、展示室が設けられています(図6、左側の建物)。ここでは同センターの先端的な研究・学術拠点としての活動を紹介しているほか、最新の地球環境観測技術や亜熱帯沖縄の魅力紹介などの科学館的コンテンツも充実しています(図7)。土曜・日曜日も開室しています。

2019年の来室者数は、公開行事を除き451名でした。

5 おわりに

NICTでは以上のほかに、未来ICT研究所(神戸市)でも一室を展示室としているほか、ワイヤレスネットワーク総合研究センターも、研究者が来客への説明に使用するための展示スペースを、本部と横須賀リサーチパーク内(神奈川県横須賀市)に設けています。

NICTは2017年に、全国科学館連携協議会に加盟して以来、他の科学館との交流を強化しているほか、同会から提供されるコンテンツを活用した企画展示を随時行っています。いずれNICTが制作したコンテンツを、同会を通じて全国の科学館に提供することも目指しています。

NICTの公開展示施設について、詳しくは以下のURLを御参照下さい。

<https://www.nict.go.jp/publicity/exhibition/>

滝澤 修 (正員)

1987京大大学院工学研究科修士課程了。同年郵政省電波研究所(現NICT)入所。音声言語情報処理、防災減災ICTの研究開発を経て、現在は広報部広報企画室長。東京学芸大理科教員高度支援センター客員教授。1991本会学術奨励賞受賞。工博(阪大)。